

近畿中央呼吸器センターに受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在近畿中央呼吸器センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究では、患者さんの日常診療で得られた情報を利用させていただきます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、個人情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

肺多型癌における遺伝子変異頻度(TMB)と関連する分子遺伝学的因子の探索：横断研究

●研究の目的と意義

わが国における肺癌死亡数は部位別癌死亡数で男女とも第1位であり、その治療の向上が求められています。肺癌の中でも、多型癌は特に悪性度が高く、治療抵抗性を有することが知られています。

近年、免疫チェックポイント阻害剤の肺癌治療に対する有効性が明らかになり、その重要性が増しています。免疫チェックポイント阻害剤の効果を事前に予測する因子として、癌細胞に含まれる遺伝子変異の個数(遺伝子変異頻度)が注目されています。

しかし、肺多型癌における遺伝子変異頻度の詳細や、その遺伝子変異頻度と関連する分子遺伝学的因子についての情報はほとんど知られていません。これらの情報は、免疫チェックポイント阻害剤に効果を示す可能性のある肺多型癌の分子遺伝学的特徴の理解に寄与すると考えられます。

本研究は、肺癌に対して外科で切除術を受けられ、肺多型癌と診断された患者さんを対象として、手術時点で得た患者さんの個人情報と、切除癌組織における分子遺伝学的な情報を収集・解析することにより、これまでにない肺多型癌の特徴を理解すること、肺多型癌に対する免疫療法の可能性を評価することを目的としています。

●対象となる患者さん

2002年1月から2020年7月の間、当院で肺癌切除術を受け、肺多型癌と診断された患者さん。

●使用させていただく診療データ

性別、年齢、喫煙歴、病期、癌細胞の遺伝子変異等の患者さんの個人情報

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。情報は研究代表者をはじめとした当院の共同研究者のみで共有します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切使用しません。

*上記の研究に対して、カルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても今後、患者さんが診療上の不利益をこうむることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡に対しては、申し訳ありませんが対応致しません。

●問い合わせ先

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 外科

小島 健介

住所：大阪府堺市北区長曾根町 1180 電話：072-252-3021 (代表)